

## 次世代たたら協創センター開設記念キックオフセミナー

H31. 2. 23(土)

島根県知事の溝口でございます。一言、ご挨拶を申し上げます。

このたび、島根大学に「次世代たたら協創（きょうそう）センター」が開設され、本日、キックオフセミナーが盛大に開催されますことを、心よりお慶び申し上げます。

このセンターは、昨年7月に、島根県が作成しました「先端金属素材グローバル拠点の創出ーネクスト・ジェネレーション・たたらプロジェクトー」において、その拠点としての役割を担うものであります。

このプロジェクトにおいては、内閣府の地方大学・地域産業創生交付金を活用させていただいております。本日は、内閣府地方創生推進事務局審議官の菱山 豊様においでいただいておりますが、ご支援をいただいておりますことに、厚くお礼申し上げます。

さて、センターの名前の由来となっている「たたら」は、日本古来の製鉄法で、世界で唯一、島根県内で操業されています。その技と精神を受け継いでいる金属素材産業は、今でも島根の中核的な産業であり、新たな技術や製品を生み出すため、絶え間なくチャレンジが続けられています。

このような地域産業の強みを活用しながら、このプロジェクトでは、「金属素材と言えば島根」と世界で認められるような地域を創り上げるため、地域の産学官金が連携して、様々な事業を10年間にわたり展開することとしております。

現在、航空機のエンジンに使われる材料の国産化や、モーターの分野での世界最高効率の製品製造技術の開発など、夢のあるプロジェクトが、ここ島根で始動しようとしつつあります。

このプロジェクトの事業責任者をお願いしております、日立金属株式会社執行役常務の佐藤 光司様、さらには、オックスフォード大学のロジャー・リード先生を始めとする、国内外の著名な研究者の方々のお力をお借りして、進めてまいります。

今後、このセンターにおいて、県内外から集まった若者達が、グローバルな感覚を持った研究者やエンジニアに成長し、島根の産業の発展に貢献されることを大いに期待しております。

終わりになりますが、「次世代たたら協創センター」が多くの若者達を育て、また、世界最先端の研究開発をリードしながら、地域産業とともに発展することをご祈念申し上げまして、私からのご挨拶と致します。